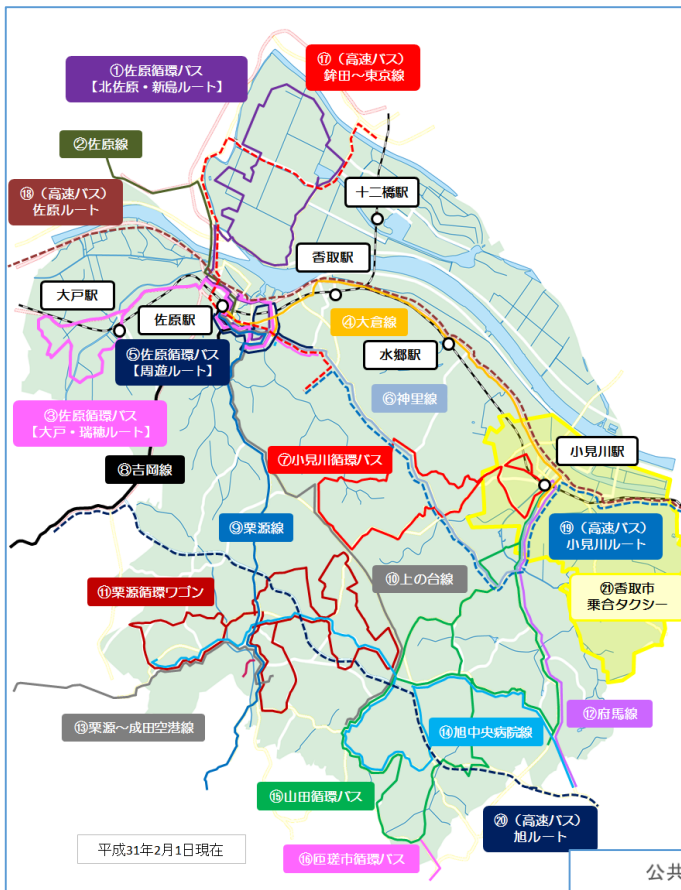


令和元年6月20日
香取市地域公共交通協議会資料

香取市では、本年度「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく『香取市地域公共交通網形成計画』の策定を進めています。

1. 香取市公共交通の現状

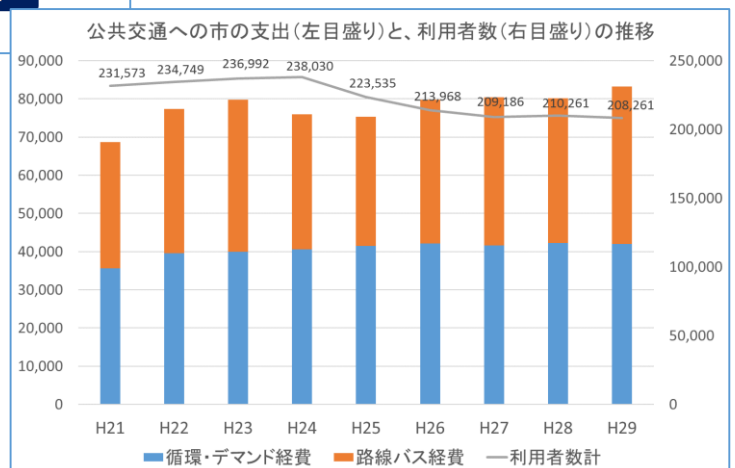


1-1. 香取市の公共交通

- ・ 循環バス …… 7路線
- ・ 民間路線バス …… 9路線
- ・ 民間タクシー …… 6社
- ・ 乗合タクシー …… 1区域
- ・ 電車駅 …… 5駅
- ・ 高速バス …… 4路線

1-2. 公共交通の利用状況

- ・ 利用者数
H21：約23万人
→H29：約21万人
- ・ 市からの支出
H21：約6,900万円
→H29：約8,400万円



- 1台ですできるだけ多くの地域を周るルートの為、利便性が低下 (循環バス)
- 合併以前の路線を踏襲しており、重複箇所等による非効率な路線
- 利用者の減少と共に、市の支出の増加 (一人当たりコストの増加)

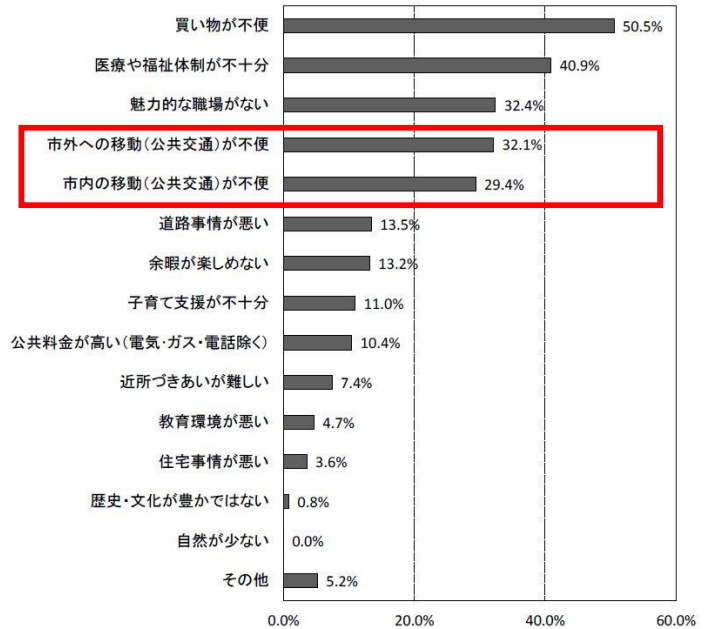
2. 市民意識調査及び人口推計

総合計画策定に向け、調査を実施（平成29年度）。

《抽出数：2,500件 / 有効回答数：1,355件 / 回答率54.2%》

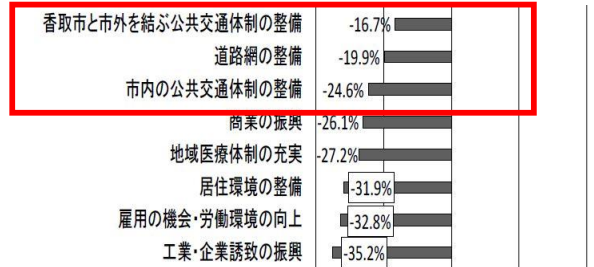
調査項目のうち、
香取市が住みにくいと感ずる理由は
という設問に対し、

- 市外への移動（公共交通）が不便 →32.1%
- 市内の移動（公共交通）が不便 →29.4%



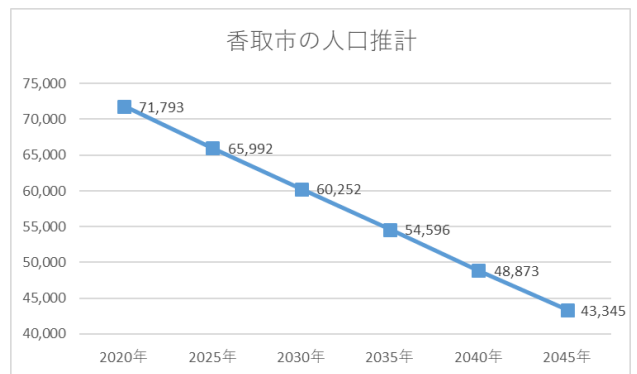
香取市の取り組みに対する満足度の設問では、

- 香取市と市外を結ぶ公共交通体制の整備 →-16.7%
- 市内の公共交通体制の整備 →-24.6%



国立社会保障・人口問題研究所が行った香取市の人口推計では、

2020年：71,793人
↓
2030年：60,252人
※対2020年比約16%減
↓
2045年：43,345人
※対2020年比約40%減



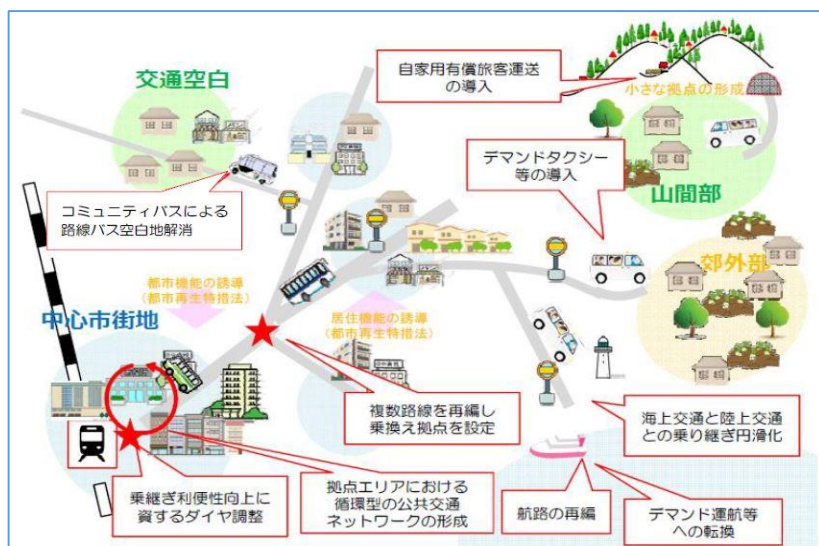
という推計値が出されている。

3.地域公共交通網形成計画とは

今後の人口減少が見込まれる中、地域社会の活力の維持・向上を目的として

- ・自治体が中心になり
- ・まちづくりと連携しながら
- ・面的なネットワーク検討を目標に計画を策定。

※平成31年4月までに、全国511団体で策定済み



公共交通の利便性・効率性向上を図り、持続可能な移動環境を形成

4.香取市の地域公共交通網形成計画

策定にあたり、香取市にあった『実効性の高い計画』を目指して、調査・検討を進めます。

■課題への対応

- ・旧市町からの運行を踏襲している「**既存路線の整理**」
- ・複数個所存在する「**交通不便地域への対応**」
- ・少子高齢化の進展に対応する「**サービス間のすみ分け**」

■メリハリをもった調査検討

- ・既存調査資料の有効活用
- ・ターゲットを絞り施策展開に直結できるような調査及び住民説明会の実施
- ・今後の利用定着に向け中高生ワークショップの実施
※モビリティマネジメントの意味合いも含む
- ・施策展開に直結できる、具体的な計画策定